



わらい
笑むすび∞
やま だ
山田 みきさん

人と人、笑顔を結び、 福島の魅力を世界に発信

「OMUSUBIで地球をむすぶ」をコンセプトに、ケータリングサービスやワークショップなどを行う「笑むすび∞」代表の山田みきさん。その活動の根幹を支えているのは、「おむすびに出合っただけで人生が変わりました」と語るほどの深い「おむすび愛」です。きっかけは東日本大震災。「風評に苦しむ福島を元気にしたい」と頭を悩ませていた山田さんは、自らのルーツを見つめ直したと言います。

「私は喜多方市の米農家に生まれました。お米は日本の食文化の基本。そしておむすびは日本人のソウルフード。福島の食の安全とおいしさを伝えるのに、おむすびはぴったりのアイテムではないかと気付いたんです」

いざ、おむすびを使って発信を始める時、さまざまな可能性が見

知事 だより



知事の
活動を伝える
コーナー!



県民の皆さんの安全・安心を守る
消防防災航空隊員を激励しました。

林野火災の対応や遭難者の救助など、福島の安全・安心を空から支えている消防防災航空隊の皆さんを激励してきました。

新防災ヘリ「ふくしま」を視察しながら、訓練する隊員の皆さんの姿を拝見し、大変心強く思いました。これからも、事故や怪我なく任務に当たっていただきたいです。

県では、市町村や消防との連携を強化し、力を合わせて消防・防災に取り組んでいきます。

福島県消防防災航空センター



今年度から正式運用する防災ヘリ「ふくしま」が、航空隊の活動をしっかり支えます。



▲ 具材の組み合わせや色どりで華やかな印象に。山田さんはパーティーフードとしての おむすびの可能性にも注目しています。



海外に行って
活動することも！



▲ イベント出店やトークショーのゲストなど、さまざまな場所でおむすびを発信しています。

【問い合わせ先】
笑むすび合同会社
東京都世田谷区太子堂4-8-16-301
03(6676)6838

「夢はおむすびで人と人を結び、世界をより楽しくすること。おむすびが転がる方向に身を任せ、思いもよらない出会いや人の輪が広がることを楽しみたいです」

また、ワークショップで参加者が一緒に おむすびを作って食べると、家族やチームの絆が深まることも実感したそう。その知見から、今後は福島や会津の魅力を伝えるのはもちろん、企業研修・食育などにも一層力を入れていきたいと語る山田さん。

「夢はおむすびで人と人を結び、世界をより楽しくすること。おむすびが転がる方向に身を任せ、思いもよらない出会いや人の輪が広がることを楽しみたいです」

えてきました。例えば、具材の組み合わせで新しい味が生まれる面白さ。山田さんの作るおむすびは、「枝豆チーズブラックペッパー」「梅フライドオニオン」など、オリジナリティあふれるレシピと見た目のカラフルさが特徴。時には活動先の特産品を使い、その土地ならではの おむすびに仕上がります。

外から見た福島のイイトコロ教えます

ふくしま

二重マル



いわきの新鮮なお魚が大好き!

ながた 永田リセさん
(トンガ王国出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。

第13回は、いわき市で英会話講師をしている永田さんです。

福島でたくさんの友だちができました!

いわき市に住んで30年以上。市内の公民館や保育園などで英会話を教えています。英会話サークルでは、料理を持ち寄って飲み会をしたり旅行をしたりと、楽しく交流しています。

旅先では地元のものや季節のものを楽しむようにしていて、会津に行ったときはおいしい日本酒を飲んで馬刺しを食べました。たくさんのつながりから県内各地に友だちができて、それが一番うれしいです!



第8回太平洋・島サミットの関連イベントでトンガ舞踊を披露